



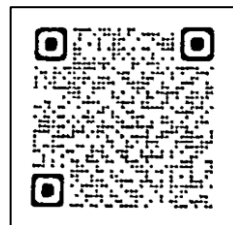
メディアとの関わり方を考える

生徒指導主事 澤田 将也

学校で一人に一台学習専用端末が貸与されているように、一人一人が何かしらのメディアを所持している、もしくは使って生活している時代となっています。スマホ等の開発はますます進み、その利便性は、飛躍的に上がっています。しかし、それと同時に、スマホ等を介した事件や犯罪、問題が増えているのも見過ごせない事実です。いつでも、どこでも、だれとでも繋がれるメディアの発達、裏を返せば、いつでも、どこでも、だれにでも問題が起こり得る状況を招いているとも言えます。このような時代にあって、メディアと「上手に関わる」ことが課題となっています。「うちの子はスマホ(ゲーム、動画視聴)ばかりで困ったな」という悩みは、多くの家庭であることではないでしょうか。

先日、群馬県教育委員会が提供する「ネットリテラシー向上教材」に触れる機会がありました。子供たちが普段よくしているゲームのような感覚で、つまり「子供目線」で、「どうしてもすぐにスマホやゲームがやめられないのか」という心理がよくわかる教材となっていました。このサイトでは、スマホやゲームの特性を小学生にも分かるように解説されています。ぜひ右記のリンクから、お子さんとお試ください。そして、子供たちが上手にメディアと関われる一助となれば幸いです。

いよいよ夏休みが始まります。子供たちにとって、自分の時間が長くなる分、いろいろなことにチャレンジしたり、いろいろなもの・いろいろな人と触れ合ったりして、充実した時間となるように願っています。



【2年生】野菜のお世話 がんばっています

2年担任 渡邊 ゆみ

2年生は、毎日野菜の水やりを頑張っています。雨降りの日でも、「野菜が心配だから、確認してきてもいいですか。」と言うくらい、自分の野菜の様子が気になるようです。水やりとともに葉を触ったりにおいをかいだりして、野菜の変化や成長を楽しんでいます。

野菜を収穫した子供もだんだんと増えてきました。「ピーマンが採れたから、ママがピザを作ってくれるって!」「きゅうりをサラダにして食べたよ! すごくおいしかった。」と食べ方も報告してくれます。

花が咲いた日、実がついた日には観察カードに野菜の様子を書き、記録を残しています。収穫した野菜にはそれぞれ特徴があるということ、おいしい野菜にするためには毎日の観察や水やりが大切であることを知りました。これからも大きくておいしい野菜を育てたいという夢を描いている子供たちです。

